

文化の風が吹くまち ちくしの

文化薫道

問い合わせ先／文化情報発信課(歴史博物館内)

☎(021)8419

一其の二十五

受け継がれる祈り 霊峰宝満山

澄み切った空気と、心地よい緊張感とともに新たな年を迎えました。新年の幕開けをふるさとを見守る霊峰からの初日の出と共に迎えようと、また一年の安寧を祈願しようと多くの人が宝満山を訪れます。

宝満山の山容は、御笠平野から望むと左右均等に山裾が連なる壮麗さと、山頂部に白い巨岩が露出するだけしさを合わせ持っています。

また、宝満山から派生する宝満川は、平野を潤す水源として人々の営みを支えています。そのため、宝満山はその威容と水分(みくまり)の神が鎮座する山として、古来より私たちの心のよりどころとなってきました。山への信仰は、山容への畏敬の念と、人の営みを受容する豊

かさへの感謝の念に基づ

いて全国各地で見られます。その中で、宝満山は国の象徴ともいえる富士山(山梨県・静岡県)や、鳥海山(山形県・秋田県)、英彦山(福岡県)とともに「霊山」として国史跡に指定されています。これらの四つの山は、いにしえより現代まで信仰の対象となっており、今も山岳修験道の祈りの場として命脈を保っています。

宝満山では、平成25年に宝満山修験会によって、明治以降絶えていた宝満山から英彦山にかけての大峰(おおみね)が再興されました。修行は秘儀であるため詳細が残されておらず、山の利用状況も変わっているため峰入ルートの復元は困難を極めま



天拝山より宝満山を望む(明治末から大正初期の絵はがき)

した。宝満山修験会は、2年以上の文献調査や現地確認を経て、150年ぶりに大峰を再興したので。

市歴史博物館では、12月20日から3月28日に、この大峰でたどった「祈りの道」の写真展を開催します。あわせて、古写真に残る各地の霊山の風景をご紹介します。今に続く祈りの山々の姿をぜひご覧ください。

広報

ちくしの



Chikushino No.1101

2018年1月15日号

発行／筑紫野市 編集／秘書広報課

〒818-8686 福岡県筑紫野市二日市西一丁目1番1号 ☎092(923)1111 FAX092(923)5391

印刷／久野印刷株式会社

発行部数／41,400部



筑紫野市ホームページ
<http://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>



筑紫野市フェイスブック
<http://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<http://twitter.com/ChikushinoCity/>